

「見守りマップ」只今作成中



高梁市社会福祉協議会有漢支所では、有漢地域の福祉委員と有漢地区民生委員児童委員との交流会を6月10日に開催しました。今回で5回目となる交流会のテーマは地域の福祉地図『見守りマップ』の作成です。

見守りマップは、備北商工会から最新の住宅地図の提供をいただき、市保険課のアドバイスを受けながら、地図に福祉委員と民生委員児童委員の情報を加えていきました。地域の皆さんの力で『見守りマップ』は完成間近です。

(8面に福祉委員連絡会関連記事)

平成22年度事業報告・決算報告…2～5頁

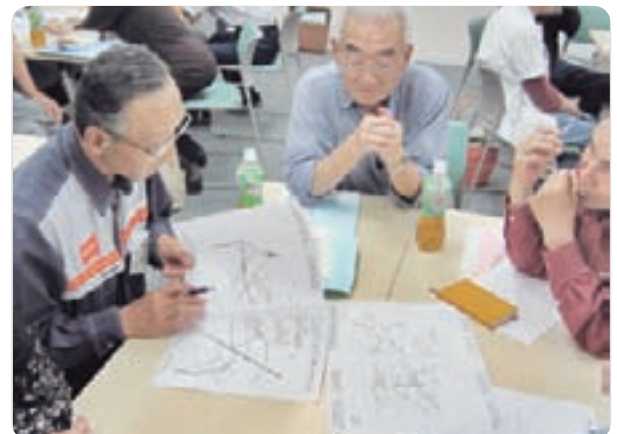
東日本大震災被災地の復興活動…6～7頁

福祉委員連絡会を開催しています…8頁

地域福祉活動報告…9頁

お知らせ…10頁

寄付…11～12頁

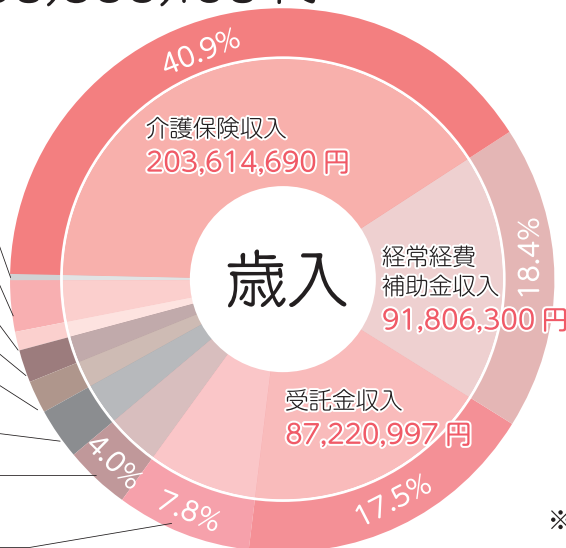


「地域福祉の推進」を目的として取り組みました

平成22年度 事業報告・決算報告

歳入総額 498,033,158 円

| | |
|-------------|--------------------|
| 前期末支払資金残高 | 1,353,675 円(0.3%) |
| その他収入 | 14,937,681 円(3.0%) |
| 共同募金配分金収入 | 5,567,000 円(1.1%) |
| 会費収入 | 8,703,000 円(1.8%) |
| 施設整備等補助金収入等 | 11,568,000 円(2.3%) |
| 寄付金収入 | 14,311,812 円(2.9%) |
| 事業収入 | 20,144,531 円 |
| 経理区分間繰入金収入 | 38,805,472 円 |

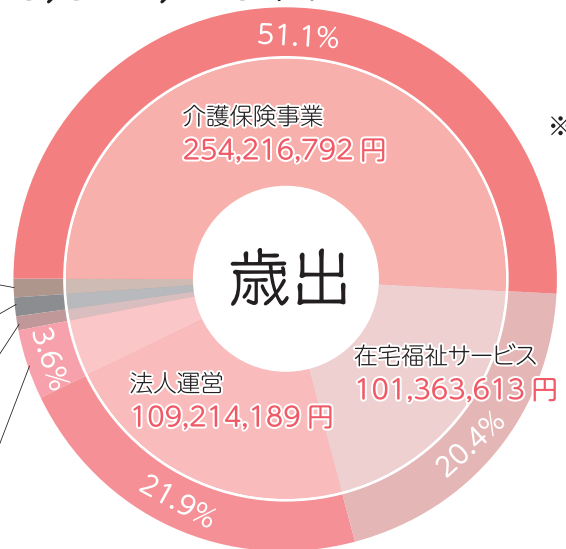


一般会計

平成二十三年五月二十六日、理事会及び評議員会を開催し、平成二十二年の事業報告及び一般会計・特別会計決算などが理事会で認定、評議員会で承認されました。
平成二十二年の歳入及び歳出については次のとおりです。

歳出総額 498,033,158 円

| | |
|--------------|-------------------|
| その他事業 | 6,134,272 円(1.2%) |
| 福祉サービス利用援護事業 | 3,569,372 円(0.7%) |
| 共同募金配分金事業 | 5,537,000 円(1.1%) |
| 地域福祉推進事業 | 17,997,920 円 |



※会費収入 8,703,000 円の内訳

| | |
|---------------|-------------|
| 社会福祉協議会賛助会員会費 | 8,221,000 円 |
| 福祉移送サービス会員会費 | 482,000 円 |

※その他収入 14,937,681 円の内訳

| | |
|--------------|-------------|
| 助成金収入 | 630,000 円 |
| 貸付事業等収入 | 180,000 円 |
| 負担金収入 | 1,505,245 円 |
| 自立支援費等収入 | 3,256,550 円 |
| 雑収入 | 1,207,280 円 |
| 借入金利息補助金収入 | 209,700 円 |
| 受取利息配当金収入 | 416,681 円 |
| 会計単位間繰入金収入 | 702,225 円 |
| 借入金元金償還補助金収入 | 2,330,000 円 |
| 積立預金取崩収入 | 4,500,000 円 |

収益事業特別会計
5,314,494 円

- ◆高齢者統合在宅支援事業
川上町のほのぼの荘の運営管理



公益事業特別会計
124,654,720 円

- ◆シルバー人材センター運営管理事業
決算額 97,420,732 円
- ◆総合福祉センター運営管理事業
決算額 27,181,971 円
- ※高梁総合福祉センターにおいて、冷暖房中央監視盤を整備
- ◆公園の管理運営事業
決算額 52,017 円
成羽町の白谷遊園地、木口小平園の管理運営

特別会計

平成二十二年度に実施した
主な事業は次のとおりです



◆地域福祉推進事業 決算額17,997,920円
○ふれあいのまちづくり事業推進
○ふれあい相談事業
○地域福祉活動事業
○老人福祉事業
○障害児・母子・児童福祉事業
○災害福祉活動事業
○生活福祉資金貸付受託事業
この事業は岡山県社会福祉協議会からの受託事業です

◆介護保険事業 決算額254,216,792円
○居宅介護支援事業
○訪問介護事業
※事務の効率化と効果的な運営を図るため
管理システムの導入
○訪問入浴事業
○通所介護事業
○共同生活介護(グループホームささゆり苑)
※スプリンクラーの設置(ふれあい福祉第
36号掲載)

◆共同募金配分金事業 決算額5,537,000円
○一般募金配分金事業
市内の福祉ボランティア団体等50団体
へ助成しました
○歳末たすけあい配分金事業
在宅寝たきりの方及び難病の方215人と
市内のボランティア等12団体へ配分しました

◆在宅福祉サービス事業
決算額101,363,613円
○高梁市から次の事業を受託し実施しました
・移送サービス受託事業
・軽度生活支援等受託事業
・生きがい活動支援受託事業
・給食サービス事業受託事業
・寝具洗濯乾燥消毒サービス受託事業
・生活管理指導員派遣事業
○高梁市遺族連合会の団体事務局の運営

◆福祉サービス利用援護事業
決算額3,569,372円
○地域福祉権利擁護事業
この事業は岡山県社会福祉協議会からの受託事業です

◆法人運営 決算額109,214,189円
○理事会、評議員会等の各種会議の開催
○会員制度の広報及び普及
○事務効率の向上及び経費削減のための
事務改善
※事務の効率化と経費節減を図るため電算
ネットワークシステムの導入

◆その他事業 決算額6,134,272円
○企画広報事業 2,244,269円
○地域福祉活動基金 235,010円
○ボランティアセンター活動事業
1,456,719円
○資金貸付事業 18,274円
○保健センター事業 2,180,000円
この事業は高梁市からの受託事業です

一般会計及び特別会計の財産目録

平成 23 年 3 月 31 日現在 (単位:円)

| 資産の部 | |
|----------|-------------|
| 科目 | 金額 |
| 1. 流動資産 | 200,469,619 |
| ①現金 | 280,000 |
| ②預金 | 106,960,393 |
| ③未収金 | 92,688,396 |
| ④前払金 | 0 |
| ⑤仮払金 | 540,830 |
| 2. 固定資産 | 605,309,225 |
| ①基本財産 | 237,462,445 |
| ②その他固定資産 | 367,846,780 |
| 資産合計 | 805,778,844 |

| 負債の部 | |
|------------|-------------|
| 科目 | 金額 |
| 1. 流動負債 | 53,183,506 |
| ①未払金 | 49,164,318 |
| ②預り金 | 3,648,490 |
| ③前受金 | 364,000 |
| ④仮受金 | 6,698 |
| 2. 固定負債 | 9,320,000 |
| ①長期設備資金借入金 | 9,320,000 |
| 負債合計 | 62,503,506 |
| 差引純資産 | 743,275,338 |

きました浄財によって支えられています

会費を財源とした事業 7,622,679 円

平成22年度は、8,221,000 円の賛助会員会費をいただきました。また活用した額 7,622,679 円との収支差額 598,321 円については、次年度へ繰越しています。地域福祉事業で大切に活用いたします。

ふれあい相談事業

569,766 円

福祉総合、高齢者サービス相談等の開催
(延 86 回開催、相談件数 35 件)

日常生活における心配ごと等の相談に対して、適切な助言及び支援

ふれあいのまちづくり事業 1,196,450 円

ふれあい福祉講座の開催



地域住民が福祉に対する理解を深め、「ささえあい・たすけあいが日常的に行われる福祉のまちづくり」の推進を目的に開催

福祉委員連絡会・講習会等の開催



ふれあいのまちづくり、福祉委員の役割や活動について周知し、小地域ネットワークの推進を図るため開催

老人福祉事業

970,871 円

敬老祝い品(米寿写真)贈呈事業
贈呈者168人



満 88 歳の高齢者に、記念品として肖像写真を撮影し、敬老の日を中心に福祉委員の協力を得て贈呈

地域福祉活動事業 4,396,382 円

移送サービス事業



高齢者等の外出及び社会参加を支援

ふれあいサロン事業



79 団体へ助成金交付

地域住民を対象にふれあいを通じて、孤立の予防・生きがいがづくり・子育て支援等を行う団体に活動費の助成

障害児・母子・児童福祉事業

150,000 円

障害者スポーツ大会等の運営費に係る助成

ボランティアセンター活動事業 234,210 円

ボランティア活動 保険料助成金支給 77 団体へ助成

本市社会福祉協議会ボランティアセンターに登録し、市内を中心に活動を行っているボランティア団体のボランティア保険料の一部を助成

ボランティア協力校助成金



市内の小・中・高等学校をボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行い、ボランティア活動の推進と普及を図る

災害福祉活動事業

105,000 円

火災見舞い 4 件

寄付金を財源とした事業 14,311,812 円

ふれあいのまちづくり事業

2,169,239 円



健康福祉のつどいの開催

高梁市と共催して毎年開催。まつりの部として、ゲートボール、グラウンドゴルフ、囲碁、将棋を実施。また、大会の部において、社協会長表彰授与式が行われました。

小地域ネットワークづくり活動支援

福祉について理解を深め、互いに励まし支えあう福祉のまちづくりを行う活動への支援

その他の事業

1,986,843 円

虚弱等によりベット等の介護用品を必要とする方に無料で日常生活用具を貸出など



ボランティア団体等助成

ボランティア活動団体の一層の活性化を図るため、運営費又は事業費の一部を助成

ボランティア団体研修会等の開催



ボランティア相互の親睦とボランティア活動への理解と更なる活動の活性化を図ることを目的に開催

夏のボランティア体験事業



中・高・大学生を対象に社会福祉について理解を深めると共に、ボランティア活動に積極的に参加する機会の提供

企画広報事業 2,244,269 円

広報紙 「ふれあい福祉」 の発行

市民の皆さんに、福祉の情報をお届けするため、年6回広報紙を発行



地域社会福祉功労表彰

地域福祉に対する功績のあった個人10人と団体4団体を表彰

地域福祉活動事業 7,004,962 円

福祉団体 活動助成

ふれあい給食サービス実施団体7団体へ活動助成

地区社協活動交付金



地域の福祉活動への支援

東日本大震災被災地の復興活動

三月十一日の東日本大震災以降、岡山県社会福祉協議会及び県内の市町村社会福祉協議会では、岡山県及び岡山県共同募金会の協力のもと、東日本大震災の被災地復興を支援するため、現地の災害ボランティアセンターと連携し、ボランティアや職員の派遣などの支援を行っています。

高梁市社会福祉協議会では、岡山県社会福祉協議会と連携し、多賀城市災害ボランティアセンター（宮城県）への職員の派遣やボランティアの募集を行った他、義援金等の受付、ボランティアバスへの職員の随行などの支援を行っています。

なお、多賀城市災害ボランティアセンターは、多くの方々からの家財道具の搬出などの要望が減少したため、七月十二日より多賀城市社協復興支えあいセンターへ移行され、仮設住宅入居者や在宅生活者への支援を行っていきます。

被災地復興支援 ボランティアに参加して



六月二十日から六月二十四日までの五日間、宮城県東松島市で被災地復興支援ボランティアとして石田芳生さん（成羽町）が参加され、感想を次のとおり話されました。

普段東日本大震災のニュースや報道に接し、少しでも復興の役に立てないかと思いましたが、現地では全国各地及び外国からのボランティアも活発に活動していました。

が、目の当たりにした震災の被害は予想していた以上に甚大でした。

今後も被災者に寄り添っていけるような活動が必要であると感じました。



写真 宮城県多賀城市内のようす

職員の派遣



本市社会福祉協議会から職員二名を被災地支援のため、宮城県多賀城市等へ派遣。

職員二名は、被災地の災害ボランティアセンター支援等に従事しました。

また、八月にも職員を派遣するよう計画しています。

災害ボランティアセンターの支援



六月六日から十四日までの九日間、宮城県多賀城市災害ボランティアセンターでボランティア業務に携わりました。災害ボランティアセンターには、連日多くのボランティアの方々が全国から訪れ、被災地の復興のため協力しボランティア活動に取り組んでおられました。

九日間の災害ボランティア

アセンターでの活動を通じ、被災された方やボランティアなど多くの方々と接し、被災された際のお話を伺うなど、貴重な経験ができました。

今回の活動で得た経験を生かし業務に携わると共にボランティアの育成を図りたいと思います。

災害ボランティアの支援



六月六日から六月十日までの五日間、宮城県多賀城市でボランティア活動を行いました。今回活動を行った地区は津波被害が甚大で、全壊している建物も数多くありました。

溜まった泥の撤去作業で、泥はゴミ等が混じりとても重く、また、気温も高い中での作業となりました。しかし、参加されたボランティア四十七名の団結力には目を見張るものがあり、目標を遥かに上回るペースで作業は進みました。

充実した活動を行えたことはもちろん、悲惨な現状の中でも、なんとか立ち上がるとうとする現地の方々のパワーに勇気をいただいた五日間となりました。

多くの方々から

義援金が寄せられています

東日本大震災の被災地支援として、個人や団体から義援金が寄せられました。

皆様からいただきました義援金は、日本赤十字社岡山県支部及び岡山県共同募金会を通じて被災地へ送られます。この義援金は、引き続き受付けておりますので、皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。



福祉委員連絡会を開催しています

六月五日の成羽地区を皮切りに、各地区で福祉委員連絡会を開催しています。ここでは、福祉委員の活動と各地区での開催状況を紹介します。

福祉委員はどんな活動をするの？

①町内会のアンテナ役・パイプ役
日常生活の中で、地域住民の変化に気を配り、何かあれば、民生委員や行政・社協へ連絡して下さい。



②地域での見守り・ささえあい・たすけあい役
一人暮らしなど特に気になる世帯へ定期的な訪問や安否確認の機会を作るなど、地域で見守り・ささえあい・たすけあいを進めていきます。

③地域福祉活動の支援役
地域で実施されている「配食サービス」や「ふれあいサロン」などに参加・協力し、交流を深めます。

④その他の活動
災害や緊急時の情報提供や協力支援を行います。

また、社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が実施する事業や会費制度の普及、賛助会費収納の協力をします。

成羽地区

六月五日、成羽、中、吹屋の三会場で開催しました。

この日は、福祉委員の役割や、社会福祉協議会の活動内容をご理解いただき、平成二十三年度の賛助会費をお願いしました。



備中地区

六月二十四日、福祉関係団体の代表者を交えて研修会を開催しました。

研修会では「高梁市の高齢者福祉サービスについて」と題して高梁市福祉課川上係長より講演をいただき、その後、地区ごとで意見交換を行いました。



福祉委員から「他団体と交流をし、連携を行っていきたい」という意見があり、改めて地域とのネットワークの必要性を感じました。

川上地区

六月八日、川上支会運営委員と川上地区民生委員児童委員との合同で総会を開催しました。

今回の総会では「安心して暮らせる福祉のまちづくり」と題して高梁市福祉課宮本課長より講演をいただき、講演の中で「限られた予算の中でお金を掛けずに互いを支えあい、助け合い、日本一おせっかいなまちづくりを皆さんで考えていきましょう」と話されていました。

その後、意見交換を行い、民生委員と福祉委員との連携を密にした関わりの重要性を再確認しました。



高梁地区

六月二十日、午前（一区）と午後（二区）に、高梁総合福祉センターで開催しました。

二十二年度の活動報告、二十三年度の活動予定、また福祉委員の活動について協議し、高梁市保険課地域包括支援センターの加藤主事より「高梁市地域包括支援センターの役割について」話していただきました。

また、話の中で「一人より二人、二人より三人。地域の方の見守りがあれば、自宅で生活が可能な方が大勢おられます。出来る限り住み慣れた地域で暮らせる地域を民生委員、福祉委員、行政、社会福祉協議会等みんなで築いていきましょう」と話されていました。





小学生児童と交流

備中デイサービス

六月一日、平川小学校児童九名が備中デイサービスセンターを訪れ、缶積みなどのゲームをして利用者と楽しい時間を過ごしました。また、十五日には富家小学校三・四年生十二名が「かるた」や「あやとり」などの昔ながらの遊びで利用者とふれあいました。

二十九日には、西山小学校児童十四名の訪問があり、トランプペットの演奏やマジックで楽しみました。

利用者は、終始笑顔で子供たちと交流を行い、楽しいひと時を過ごしました。



手話教室の開催

高梁市立有漢中学校

六月二十七日、ボランティア協力校に指定されている有漢中学校で、ボランティア活動の一環として、高梁市手話ボランティアの会の会員を講師に招き、手話教室を開催しました。

今回学習したのは二年生十七人で、手話未経験の生徒達は最初戸惑いながらも、自分の名前を手話で表現し、徐々に出来るようになる、「翼をください」の曲を、歌いながら歌詞を手話で表現しました。

また、会員から「手話を障害者とのコミュニケーションに役立てて欲しい」と話があり、生徒達は手話について理解を深めることができました。



総会の開催

高梁市遺族連合会

六月十七日、高梁総合文化会館において、平成二十三年度総会を開催しました。

開会にあたり、大月会長から「東北の震災では、皆、助け合いながら復興に臨む姿が、私たちが戦後受けた苦しみと重なる。遺族会も絆を深めて助け合って行きましょう」と挨拶がありました。続いて、二十二年度事業報告と決算、及び二十三年度事業計画と予算が承認されました。

また、任期満了に伴う役員改選で、大月健一会長が再任されました。



高齢者交通安全講習会

川上いきいき交流館・川上デイサービス

六月二日から七回にわたって、高梁市役所交通指導員と高梁警察署交通安全指導員による交通安全講習会が開催されました。

高梁管内の交通事故の現状報告の中で七十五歳以上の方が運転する車やバイク事故は八割が昼間であることや「標識・信号の正しい見方」「夜光反射材の必要性」等指導がありました。

寸劇を用いたわかり易い講習会で参加者は楽しみながら交通ルールに対する認識を高めることができました。

平成二十三年度
賛助会費のお願いについて

本市社会福祉協議会では、福祉委員を通じて賛助会費を募っています。

この賛助会費は、地域で住む人が手を取りあい「ささえあい・たすけあい」と「市民参加による福祉事業の維持充実」を図り、地域福祉を推進していくうえで欠かせない貴重な財源となっています。

本年度も会員制度の趣旨にご理解ご賛同いただき、賛助会員加入へのご協力をお願いいたします。

なお、高梁市社会福祉協議会法人会費、ふるさと会費及び高梁市共同募金委員会への法人募金にご協力いただいた法人及びふるさと会員のお名前を広報紙に掲載させていただきます。市民皆様に報告いたします。

| | |
|---------------|----------|
| 賛助会員 | |
| ○普通会員 | |
| 高梁市民 | 1口1,000円 |
| ○法人会員 | |
| 市内の法人（事業所を含む） | 1口3,000円 |
| ○ふるさと会員 | |
| 市外居住者 | 1口3,000円 |
| ○特別会員 | |
| 特別な協力者 | 1口5,000円 |

敬老祝い品贈呈事業について

本市社会福祉協議会では、米寿を迎えられる皆様の長寿をお祝いし記念品を贈呈しております。

▽贈呈の対象者

高梁市内に在住し、平成二十二年九月二十一日から平成二十三年九月二十日の間に満年齢八十八歳になられる方で、現在も高梁市に住所を有する方

▽贈呈品

米寿記念の肖像写真

※撮影、贈呈等は無料で、撮影日時などは、川口写真館（下町一〇九）から直接申込者の方へご連絡いたします。なお、贈呈は九月の中旬を予定しています。現在、希望されていない方で、希望される場合はご連絡下さい。



額縁・台紙・フレームの中から1つ選んでいただけます。

平成23年度
ふれあい
相談と援助

| 種別 | 福祉総合相談 | 身体障害者相談 |
|-------|-------------|-------------|
| 担当相談員 | 常任相談員 | 身体障害者相談員 |
| 場所 | 高梁総合福祉センター | 高梁総合福祉センター |
| 時間 | 10:00～15:00 | 10:00～15:00 |
| 月/日 | 8月18日（木） | 8月4日（木） |
| | 9月15日（木） | 9月1日（木） |

☆各支所で定例の相談日はありませんが、随時相談に応じます。
 ☆相談予約や問合せ先は次のとおりです。
 高梁本所 ☎ 22-7243 有漢支所 ☎ 57-3218 成羽支所 ☎ 42-2005
 川上支所 ☎ 48-9770 備中支所 ☎ 45-3131
 ※プライバシーは完全に守ります。お気軽にどうぞ。

福祉施設の作品展示コーナー

巨瀬デザイナーサービスセンター



利用者が折り紙で色とりどりのホテルを作りました

川上デザイナーサービスセンター



職員が書いた下絵に、利用者が包装紙等を貼付け、梅雨の日の1コマを作りました

備中デザイナーサービスセンター



利用者が、紙コップに和紙を張っていろんな表情の猫を作りました

社会福祉協議会へのご寄付

23年5月～6月

ありがとうございました。

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成23年5月と6月にいただいたご寄付についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

【香典・玉串料・御花料返し】
《高梁支会》

- 金一封 下谷町 真田 昌典 (故・美代子様)
- 金一封 原田北町 赤木 信也 (故・哲夫様)
- 金一封 中井町 佐藤 治己 (故・一夫様)
- 金一封 川面町 川西 智子 (故・すぎゑ様)
- 金一封 東町 石川 立子 (故・治様)
- 金一封 下谷町 杉原 征人 (故・八千代様)
- 金一封 津川町 平松 茂之 (故・すみえ様)
- 金一封 高倉町 藤本 誠 (故・榮様)
- 金一封 正宗町 森下 一臣 (故・嘉恵子様)
- 金一封 高倉町 大森徹太郎 (故・初江様)
- 金一封 東町 玉田 敏明 (故・義雄様)
- 金一封 下谷町 大河真理子 (故・河田富枝様)
- 金一封 川面町 谷口 豪 (故・ユキ様)
- 五万円 津川町 岡田 時夫 (故・ツヤコ様)
- 金一封 下町 福田 純治 (故・ハルエ様)
- 金一封 倉敷市 渡辺 篤志 (故・主計様)
- 金一封 伊賀町 蔵田 隆夫 (故・英世様)

《津川地区》

- 金一封 内山下 伊藤 綾子 (故・森脇明様)
- 金一封 津川町 西森 充正 (故・貞子様)
- 金一封 巨瀬町 横田 仁志 (故・彰支様)
- 三万円 中井町 齋藤 君枝 (故・正志様)
- 金一封 本町 藤森 弘子 (故・盛正様)
- 金一封 伊賀町 井上 知明 (故・緑様)
- 金一封 落合町 石原 泰博 (故・光子様)
- 金一封 原田北町 石井 芳枝 (故・恵子様)
- 金一封 総社市 西 賢 (故・美保枝様)
- 金一封 中井町 津々敬一郎 (故・キノノ様)
- 金一封 原田北町 有光 誠 (故・艶子様)
- 金一封 巨瀬町 宇喜多隆教 (故・幸恵様)
- 金一封 中井町 中村 一郎 (故・シカノ様)
- 金一封 落合町 西田 文利 (故・喜代子様)
- 金一封 中原町 笹田 求 (故・耕平様)
- 金一封 中井町 仲田 義昭 (故・スガヨ様)
- 五万円 津川町 岡田 時夫 (故・ツヤコ様)

《川面地区》

- 金一封 津川町 西森 充正 (故・貞子様)
- 金一封 川面町 中田 秀喜 (故・ハナコ様)
- 金一封 川面町 川西 智子 (故・すぎゑ様)
- 金一封 巨瀬町 宇喜多隆教 (故・幸恵様)
- 《巨瀬地区》
- 金一封 巨瀬町 平野 義昭 (故・伸一様)
- 金一封 巨瀬町 横田 仁志 (故・彰支様)
- 金一封 巨瀬町 宇喜多隆教 (故・幸恵様)
- 《中井地区》
- 金一封 中井町 津々敬一郎 (故・キノノ様)
- 金一封 中井町 仲田 義昭 (故・スガヨ様)
- 《玉川地区》
- 金一封 玉川町 真野 咲恵 (故・旭様)
- 《宇治地区》
- 金一封 宇治町 花崎 豊 (故・青梨時恵様)
- 金一封 宇治町 三嶋 訓三 (故・ツユコ様)

《落合地区》

- 金一封 落合町 川上 利明 (故・美和様)
- 《有漢支会》
- 金一封 上有漢 藤本 力 (故・緑様)
- 金一封 有漢 大倉 徳政 (故・繁様)
- 金一封 有漢 山口 一男 (故・喜久榮様)
- 金一封 有漢 秋庭 克己 (故・甲様)
- 《成羽支会》
- 金一封 布寄 川上 昌一 (故・忠雄様)
- 金一封 下原 西林 正徳 (故・澤子様)
- 金一封 中野 三浦 隆子 (故・稔様)
- 金一封 下原 鳴瀬 高志 (故・久代様)
- 金一封 下日名 黒川 智雄 (故・藤一様)
- 金一封 井原市 瀧 伯夫 (故・久和之様)
- 五万円 下原 桶谷 隆男 (故・寿代様)
- 金一封 成羽 西林 昭子 (故・稔様)
- 金一封 下原 河上 庄平 (故・知恵加様)
- 金一封 成羽 村上 伸幸 (故・多盛様)

金一封 坂本 佐田 富代
(故・秋夫様)

《川上支会》

金一封 高山市 加藤 考一
(故・妹尾悟様)

金一封 地頭 山本 章雄
(故・英夫様)

金一封 地頭 松本 剛左
(故・マサル様)

金一封 高山 佐々木 晃
(故・正様)

金一封 七地 三苦 町恵
(故・哲夫様)

金一封 領家 耕田 誠
(故・昭文様)

金一封 仁 賀 薬師寺光治
(故・美奈子様)

金一封 地頭 三村 麗子
(故・芳江様)

金一封 高山 元石瑠里子
(故・喜美子様)

金一封 仁 賀 中西 常男
(故・清様)

金一封 香川県 伊澤 照子
(故・三苦スミエ様)

金一封 七地 西嶋 一夫
(故・静恵様)

《備中支会》

金一封 東油野 後内 久雄
(故・嗣晴様)

金一封 西油野 村上 勝彦
(故・松夫様)

金一封 平川 赤木 時子
(故・初夫様)

金一封 東油野 菊楽 友治
(故・浅治郎様)

十万円 成羽町 桶谷 隆男
(故・寿代様)

金一封 平川 中上 満子
(故・保二様)

金一封 成羽町 村上 伸幸
(故・多盛様)

金一封 布瀬 高見 澄恵
(故・周夫様)

《一般寄付》

《高梁支会》

金一封 匿名

(社会奉仕として)

第324回、325回目

一万二千四百二十五円

落合町近似 一市民

(一般寄付として)

《中井地区》

金一封 中井町 吉田 治枝
(退院内祝いとして)

《有漢支会》

金一封 上有漢 大石 力
(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 米山 留男
(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 河原 百花
(退院内祝いとして)

《成羽支会》

金一封 中野 小林 佐
(退院内祝いとして)

金一封 成羽 佐藤 唯志
富美子

(ダイヤモンド婚内祝いとして)

《川上支会》

金一封 七地 三宅 文子
(退院内祝いとして)

金一封 三沢 鈴木 真人
(退院内祝いとして)

金一封 仁 賀 杉本 卓三
杉本 良枝

金一封 下大竹 山内 廣子
(退院内祝いとして)

《備中支会》

金一封 布 賀 松岡 三郎
(退院内祝いとして)

金一封 西油野 村上 敏郎
(退院内祝いとして)

金一封 布 賀 原田 俊子
(退院内祝いとして)

金一封 布 賀 横部 寿子
(退院内祝いとして)

金一封 平川 前原忠三郎
(退院内祝いとして)

前号(第37号)において記載もれがありました。お詫びいたします。

《高梁支会》

金一封 倉敷市 堀 幸夫
(故・イキミ様)

編集後記

日

ごとに暑さが増してきて、いよいよ夏本番と

なってきました。市内各所でイベントが開催され、活気あふれる季節です。

本市社会福祉協議会も八月に行われる備中松山踊りの団体連コンテストに参加すること今年で三回目。今年も市民の皆さんと踊り、地域を盛り上げ、高梁市という輪と一緒に作っていききたいと思えます。

さて、今回の紙面に掲載しています、東日本大震災被災地の復興活動ですが、社会福祉協議会として職員を派遣し、また、市民の方も災害ボラン

ティアとして参加されました。社会福祉協議会では、被災地支援として引き続き八月に職員派遣の準備を進めています。

被災された方々にとつて今もなお安らげる状態ではありません。一日も早い復興と被災地の方々の笑顔が戻るよう行政等と連携して支援して参ります。市民の皆様には引き続きご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

